

平成23年度 坂東市行政改革懇談会（第1回）での意見等について

1. 行政改革懇談会について

7月29日（木）開催（岩井庁舎 第一応接室 午後1時半から）

出席委員9名（12名中）

市出席者6名（市長、企画部長、企画課長、事務局3名）

2. 行政改革懇談会での意見等について

区 分	意見の概要	回 答
コミュニティバスについて	利用者への乗り込みアンケート調査は、どのようなアンケートですか。	バスを利用している人と一般の人のアンケートを行った。利用者のアンケート結果は廃止しては困るという意見が多かった。一般の方は、概ね半々で、コミバスがいい、それから予約型のデマンドタクシー、タクシー券がいいと分かれた結果になった。 できるだけ現在の委託金額を上回らないで利用者を増やす方法、タクシー券や前日までに予約するデマンド型タクシー等も含めて、もう少し時間をかけて検討させていただきたい。
企業誘致について	新たに弓田地区にも工業団地を開発するということだが、具体的に引き合い等はあるのか。	問い合わせ等は数件ある。 弓田地区は、インターのすぐそばにオーダーメイド方式で計画している。
農業の後継者対策について	新規就農者や農業後継者の確保も非常に重要な問題だが、高齢者対策も必要ではないか。	元気な高齢者は、野菜を作って道の駅や直売所に出して、生きがいを覚えてくる。 団塊の世代が退職を迎えるので、そのエネルギーをどう使っていくか。企業的な考え方で、稼げるよう十二分に検討させていただきたい。
	ハウレン草など軽量の葉物野菜に重点を置くなど、もう少し高齢者の対策も必要だと思う。	
	坂東市は、レタス、ネギ、白菜の3品目を集中的に作ることによって銘柄産地を頂いている。高齢者には、軟弱野菜（チンゲン菜、ハウレン草）を作ってもらっているので心配ない。	
	団塊の世代の方が退職を迎えるので、行政に少しアイデアを足して頂いて、いい方向に導いていただきたいと思います。	

区 分	意見の概要	回 答
介護事業の民間委託について	<p>介護事業の民間委託について、近隣自治体の状況調査とありますが、介護事業が広域的に民間委託する方向なのか。</p>	<p>近隣では、民間委託が進んでいるところもある。</p> <p>岩井福祉センターで行っている介護事業を社会福祉協議会や民間の福祉事業者へ委託する計画をしている。</p>
その他（放射能について）	<p>食品放射能測定機を購入したということで、市民の皆さんにもうまく利用出来るようにしてほしい。</p> <p>坂東市では、茨城県と、どのような取組でやっていくのか、予定があれば、教えてほしい。</p>	<p>市、農協、市場、生産者組合等で構成する野菜緊急対策協議会で放射能測定器を購入した。機械は市役所に置いてあるので、市民の方がもし不安だというものがあれば測ることができる。</p> <p>また、市内の子ども達（幼児から中学生まで）に約100日分のマスクを準備している。</p> <p>放射能問題については、先々のことも考えて取り組んでいく。</p>
	<p>茨城県の土壌の放射線量を測定して、その結果を来月の中旬位までに発表するというニュースがあった。農家は秋作の準備を始めているので、もう少しその結果が早く分かればと思う。</p> <p>坂東市は大丈夫かどうか、どのように判断されているか聞きたい。</p>	<p>安全だと言っているのは、あくまで放射線の測定の結果だけである。</p> <p>秋作も心配かと思うが、田植えの時期もとにかく田植えして、万が一だめだった場合には補償の対象として東京電力に請求しようと話をしている。例えば、土壌が汚染されていたとして、放っておいたらいつまでたっても変わらない。少しでも作物やひまわりで吸い上げさせる。二重手間になるかもしれないが、やっけないと何時になっても土壌の汚染は続いてしまうと思うので、大変でもみんな頑張っていくしかないと思う。</p>